

産業用マルチローター 農薬散布等における散布飛行諸元  
 一般社団法人農林水産航空協会が性能を確認した水稻・麦・大豆などを対象とした標準的散布飛行諸元です。

《製造会社:株式会社エンルート》

性能確認番号	機種 (製造会社)	散布方法	散布装置の 型式	飛行速度 (km/h)	飛行高度 (m)	飛行間隔 (m)	性能確認基準(遠隔操縦) 又は(自動操縦)への適合	対象作業等
MR-01	Zion	液剤散布	ZIN500A	10~20	2	3~4	遠隔操縦	
		粒剤散布	ZIN700P	10~20	2	4	遠隔操縦	
MR-09	AC1500	液剤散布	ZIN1000A	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	ZIN1400G	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	ZIN1400P	15	2	10	遠隔操縦	除草剤は自己拡散剤専用

《製造会社:株式会社丸山製作所》

MR-02	MMC940AC	液剤散布	S-1510MC	10~20	2	3~4	遠隔操縦	
		粒剤散布	ZIN700P	10~20	2	4	遠隔操縦	
MR-10	MMC1500AC	液剤散布	S-1510MC2	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	ZIN1400P	15	2	10	遠隔操縦	除草剤は自己拡散剤専用
MR-18	MMC1060	液剤散布	S-1510MC3	15	2	4	遠隔操縦	
MR-19	MMC1501	液剤散布	ZIN1000A	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	ZIN1400G	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	ZIN1400P	15	2	10	遠隔操縦	除草剤は自己拡散剤専用

《製造会社:TEAD株式会社》

MR-03	DAX04	液剤散布	TD-KML-100	10~20	2	3~4	遠隔操縦	
		液剤散布	TD-P-01	10~20	2	3~4	遠隔操縦	
		粒剤散布	KMG-050	10~20	2	4	遠隔操縦	
MR-23	TA408	液剤散布	TD-P-02	15	2	4	遠隔操縦	

《製造会社:東光鉄工株式会社》

MR-04	TSV-AQ1	液剤散布	TSU-W8L	10~20	2	3~4	遠隔操縦	
		粒剤散布	TSU-G6L	10~20	2	4	遠隔操縦	
MR-07	TSV-AH1	液剤散布	TSU-W4LH	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	TSU-G3L	10~20	2	4	遠隔操縦	
MR-12	TSV-AH2	液剤散布	TSV-W10L	15~20	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	TSV-G10L	10~20	2	4	遠隔操縦	
MR-05	AC940T	液剤散布	TSU-W4L	10~20	2	3~4	遠隔操縦	
		粒剤散布	TSU-G3L	10~20	2	4	遠隔操縦	

《製造会社:株式会社スカイマテックス》

MR-11	X-F1	液剤散布	X-F1-L	20	2	4	遠隔操縦	
-------	------	------	--------	----	---	---	------	--

《製造会社:MAC-FACTORY》

MR-13	SS3000	液剤散布	KML-050	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	KMG-050A	15	2	4	遠隔操縦	

《製造会社:ヤマハ発動機株式会社》

MR-14	YMR-08/ YFA8	液剤散布	L81	10~20	3	4	遠隔操縦	
			L81 滴下仕様	15	3	5	遠隔操縦	滴下:ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に滴下装置で滴下。
		粒剤散布	KG100Y	10~20	3	4	遠隔操縦	1kg剤の諸元。他に豆つぶ剤、自己拡散剤の諸元もある。(散布装置は(株)やまびこ製)
		粒剤散布	L82	10~20	3	5	遠隔操縦	

《製造会社:株式会社マゼックス》

MR-15	MGO-01	液剤散布	MGES-A	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	MGRS-A	15	2	4	遠隔操縦	

《製造会社:XAG JAPAN株式会社》

MR-16 MR-20 (自動)	P20	液剤散布	IRASS4500	15	2	3	遠隔操縦、自動操縦	
------------------------	-----	------	-----------	----	---	---	-----------	--

《製造会社:株式会社石川エナジーリサーチ》

MR-17	DD0	液剤散布	DPO	15	2	4	遠隔操縦	
		粒剤散布	DTO	15	3	4	遠隔操縦	

- 注)
- ・粒剤は散布資材によって分散パターンが異なります。事前に散布幅を確認してください。また、広く拡散する自己拡散剤については、各剤の拡散距離を考慮して飛行間隔を決めてください。
  - ・粒剤散布で除草剤を散布するときは、予め落下幅を確認し、ほ場外へ飛散しないようにして下さい。
  - ・滴下仕様で除草剤を滴下する場合は、散布装置のノズルとアトマイザーは使用しないでください。
  - ・諸元を変更する場合には、それに見合った吐出量になるよう散布装置を調整してください。また、吐出状況に異常のないことを確認してください。